

(特別活動)

子どもが主体的に生きる力の基礎を育む「特別活動」の創造
～自分の考えや思いを自分のことばで話すことができる特別活動を通して～

大阪市立塚本小学校 研究部

1. はじめに

本校では、平成25年度より、課題に対して主体的に取り組む児童を育てるために、特別活動を研究領域として研究をスタートさせた。

研究を進める中で、一定の成果はあったものの、昨年度の児童の実態として、「相手の立場」を考えて行動したり、自分のことばでしっかりと伝えたりすることができず、「トラブルになる子が多い」という課題があった。また、学級活動の指導において、学級会における指導者の関わり方、合意形成の仕方に課題が残った。

また、児童会活動において、昨年度から、全校児童が一同に会して話し合うという全校児童会議「つかもとっ子会議」を行っている。全校児童529名が講堂に集合し、運営委員会が司会グループとして話し合いを進める話し合いは手探りのスタートで、合意形成の方法など、効果的に進めるための課題がある。

2. 研究の内容

昨年度までの課題をうけて、子どもたちが、特別活動の実践を通して、自分の考えや思いを自分のことばで伝え、自分たちの学級や学校を創っているのは、自分たちであるという自己有用感をもつことができることをねらいとした。そこで、研究主題を「子どもが主体的に生きる力の基礎を育む『特別活動』の創造～自分の考えや思いを自分のことばで話すことができる特別活動を通して～」として研究を進めた。

これまで2年間の課題をふまえ、以下のように研究の視点を設定した。

(1) 学級活動での話し合い活動を深める効果的な指導・支援方法

- ①自分の考えや思いを自分のことばで話すことができるような指導・支援
- ②少数意見も大切にし、建設的に話し合いが進むような指導・支援
- ③適切な合意形成の方法
- ④各学年に応じた議題のあり方
- ⑤話し合いのスキルの向上
- ⑥「出し合う」「話し合う」「まとめ合う」場の設定
- ⑦ハンドサインの活用

これらの項目から、各学年が児童の実態に合わせていくつか設定して研究を進めた。

(2) 児童会活動を通した自主的・実践的な態度・行動の育成

- ①たてわり班
- ②つかもとっ子会議
- ③全校活動時での音楽の活用
- ④集会活動の充実

今年度は、特に昨年度からスタートした「つかもとっ子会議」の研究を深めることを第一のねらいとした。

(3) 実践例

◆2年「ワクワク楽しいおいもパーティーをしよう」

- ・ 1学期にお楽しみ会を経験したことを生かし、生活科の学習で育てたサツマイモを使ったパーティーをどうするか話し合った
- ・ 自作のタイマーで視覚化することで、子どもたちが、話し合う時間を意識し、「みんなが楽しめるように」という提案理由を意識した話合いができた。

◆5年「友だちのことをもっと知ろうプロジェクト」

- ・ 2学期になり、①友だちの良さや自分の良さに気づく②友だちに対するマイナスイメージを変える③学級目標を達成することをねらいとして、友だちのことをもっと知ることができるように何ができるかを話し合った。
- ・ 出された意見を、少数であっても生かして合体させたり、友だちの意見を言い換えたり、複数の意見をまとめたりすることができたりと、学級会が温かい雰囲気为建设的に話合いが進んだ。
- ・ 話合いで決まったことを実践すると、「自分が知っていると思っている子でも知らないことがたくさんあってびっくりした」という振り返りがあり、ねらいを達成できた。

◆つかもとっ子会議

- ・ 第4回のつかもとっ子会議は「楽しい遊び交流会にしよう」という議題で話し合った。代表委員会の児童や高学年の児童だけでなく、低学年の児童からも意見がたくさん出た。
- ・ 意見に対する質問や、つけ足す意見もたくさん出て、ハンドサインも活用できた話合いになった。
- ・ 話合いの結果、手つなぎふうせんバレー、転がしドッジボール、チーム対抗しっぽとりで決まり、全学年が楽しめる遊び交流会を実践することができた。

3. 研究のまとめ

(1) 研究の成果

- 学級会個人ノートと指導者のコメントが効果的であった。
- 学級会の意義を確認したことや、司会者や発表者が肯定的な言葉を使うことで、学級会が建設的に進んだ。
- 司会グループを輪番制にし、司会の難しさや大変さをどの子も経験することで司会グループに協力しようとする姿勢につながることができた。
- 出された意見が議題にふさわしいか、提案理由にあっているかを考えたり、多数決によらない合意形成の方法を例示したりすることが意見をまとめる時に役立った。
- 主体的に話合いに参加する手段としてハンドサインを活用することができた。
- 指導者の適切な指導、称賛が話合いのスキル向上につながった。
- 「つかもとっ子会議」によって、全校児童の前でも自分の意見を言う子が増えた。意見もつながるようになった。

(2) 今後の課題

- 議題の精選と、ハンドサインのねらいをはっきりさせる。
- 意見を言うことが苦手な子への支援と適切なタイミングでの指導と称賛
- 「つかもとっ子」会議でスムーズな合意形成の方法